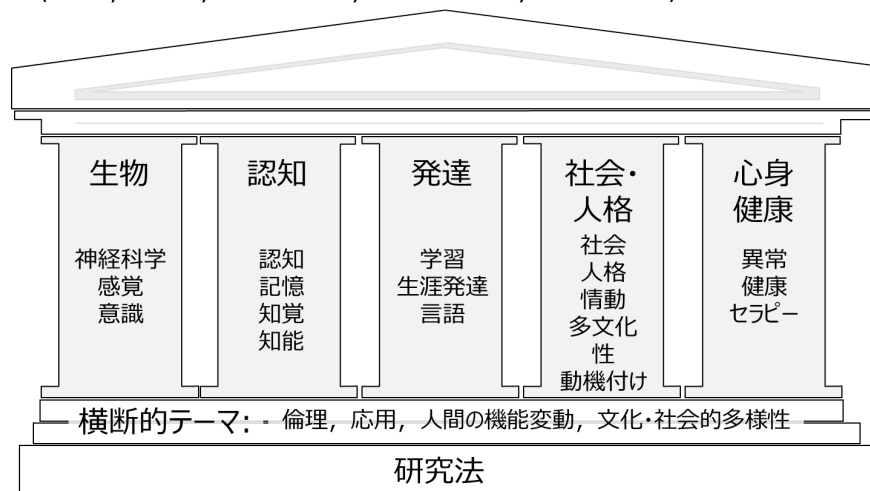


# 科学・技術の世界 北大生のための 心理学概論 I

心理学(=行動と心的過程に関する科学)を基本的な5つの側面(認知, 発達, 神経基盤, 社会・人格, 心身健康)から学ぶこと。



## 授業概要

心理学は心をさまざまな科学的手法で捕らえ、測定し、理解し、ときには予測します。この講義では、心理学の知見を基本的な側面である5要素(認知, 発達, 神経基盤, 社会・人格, 心身健康)について学ぶことが目標です。



担当教員 河原 純一郎

北海道大学大学院 文学研究院  
人間科学部門 心理学分野  
教授

## 到達目標

- 1.心理学の主要な用語と構成概念について指摘でき、説明できるようになる
- 2.人の行動や認知、状態を調べる基本的な手法を記述できるようになる
- 3.心理学について学んだことを日常生活に適用できるようになる
- 4.心理学を学んだことがない人に対して心理学の視点から人間の行動をわかりやすく説明できるようになる

## 授業計画

- 1.何が心を動かすか、しらくま効果
- 2.情動の表出と認知、情動の理論
- 3.非言語コミュニケーション
- 4.怒り、幸福
- 5.ストレス
- 6.パーソナリティ
- 7.ビッグファイブ因子、自己を探る
- 8.中間試験
- 9.発達 (安達)
- 10.発達 (安達)
- 11.精神疾患
- 12.不安症・気分障害
- 13.統合失調症・その他の精神障害
- 14.古典的条件づけ
- 15.オペラント条件づけ
- 16.期末試験

## 成績評価

試験66%。試験は多肢選択式または穴埋め式を主体とします(予定)。受講者数が極端に多い場合、少ない場合は出題形式を変更する可能性があります。積極的な授業関与(小さい紙へのコメントの記入)30%。奥義書4%。積極的な授業関与がよいスコア獲得に必要です。補助課題として6%を上限に、文学部心理学研究室の実験あるいは調査へ参加することで追加加点とすることができます。このほか、もう一つの補助課題として日直16%。zoomを用いた遠隔授業では、日直を若干名募集します。日直はzoomでの授業中、教員(河原)からの声かけに対して、積極的に反応して貰います。日直経験者は2回ある試験のうちどちらか一方の半分を無条件で正解にします。実験参加及び日直の補助課題への参加は必須ではありません。